

兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS
2009.4

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

発行
兵庫県議会議員 **内藤ひょうえ** 事務所
〒679-1103
多可郡多可町中区牧野30
TEL.0795-20-7186
FAX.0795-32-2793

県政への
ご意見ご相談は
お気軽に

政調副会長に就任

平成19年4月に地域の方々の熱いご支援を受けて政治家としての道を歩み始めた内藤兵衛県議会議員。この間、常任委員や自民党の各種部会、予算・決算特別委員などを務め、周到な調査活動を踏まえ、たうえでの持論を述べ、など、充実した活動を展開しています。

こうした地道で真摯な姿勢に大きな期待が寄せられており、今年度は同僚・先輩議員の強い推挙を得て、自民党県議団政務調査会副会長に選ばれました。

期待大きく議員団から強い推挙

自民党県議団は、県議会の第1党として、井戸県政を支える要役を担っており、県下全域から選出された多彩な議員が所属しています。

議員を通じて県民各層から寄せられる要望が多様性にわたっていることから、政務調査会室では意見や要望の取りまとめをはじめ、連日、党内議論、県当局との意見調整などに多忙を極めます。

日頃の活動成果、発揮のとき

民間企業での経験も活かす

このため、政策立案とともに県への政策提言や積み重ねてきた調査の活動成果などに定評のある内藤県議には同僚・先輩議員だけでなく、県当局からも大きな期待が寄せられています。

特に、全庁あげて取り組んでいる新行革プランの推進や検証、兵庫経済の活性化などには、民間企業が培ってきた経験を活かしてほしいとの声が集まっています。



「地域の元気、兵庫の元気づくり」に共に歩みましょう」とガッチリ握手を交わす井戸知事と内藤県議

井戸敏三知事と元氣兵庫を

トピックス

平成21年度県当初予算は、景気の悪化などによる苦しい編成の中で、経済対策、子育て支援策などに重点を置いています。

新緑が目まぶしい季節となりました。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。私は、皆さまの温かいご支援を糧に、元気で議員活動に精進しています。

さて、このたび私は自民党県議団政務調査会副会長の重職を拝命いたしました。就任間もないものの、連日、党内、県当局との意見交換や調査活動のスケ

ジュール調整などに取り組んでいます。

このため、地元を留守にすることが多くありますが、この経験を必ず地域のために活かしてまいります。

兵庫県は大震災からの復旧・復興のための投資の影響で、危機的な財政状況にあり、昨年秋、新行革プランが策定されましたが、改革には常に痛みが伴い

ます。

こうしたときこそ、「地域の力」を結集しなければなりません。

地域の力とは、そこに住む人々が共に生きる「共生」、そして共に育つ「共育」という2つの精神を大切にしながら、国・ふるさとを愛し、こころ豊かに暮らすことが出来る環境の上にこそ成り立つものだと思えます。

皆さまと共に「地域の力で地域の活性化」に全身全霊で取り組んでまいります。

- ◎ 中小企業の資金繰り対策の融資目標枠を総額で5千億円に拡充
- ◎ 3カ年にわたる失業者等の雇用機会を創出
- ◎ 妊婦健診の全14回の全額無料化へ市町助成
- ◎ 小学4年生から中学3年生を対象とする「子ども医療費助成制度」の創設
- ◎ 「ひょうご教育創造プラン(仮称)」の策定や「兵庫型教科担任制」の導入
- ◎ 個人や企業の農業参入を支援する「ひょうご就農支援センター(仮称)」の開設

意見と共に持論や提案を盛り込んで県の姿勢をただす内藤兵衛県会議員

予算県会で2度目の一般質問



内藤兵衛県会議員は、今年2月27日、平成21年度県政の方針を決める第299回定例会議会で2回目となる一般質問に登壇しました。北播磨の地域性を活かした企業誘致の推進、シカ捕獲対策のさらなる強化とシカ肉の利用促進など、地域の活性化の推進や課題の解決に向けて5項目を質問。いずれも、地域の方々のご意見、ご要望を中心に事前調査も盛り込んだ内容で、井戸知事をはじめ県当局から前向きな答弁を引き出すことができました。

第299回定例会—21年度県政へ意見、要望

町の強み活かした誘致戦略を

多可町は昨年12月、町レベルでは全国で2番目となる企業立地促進法に基づく基本計画の同意を国から得ることができました。「新エネルギー関連産業」「食のものづくりに関連産業」の2分野の

多可町では昨年12月、町レベルでは全国で2番目となる企業立地促進法に基づく基本計画の同意を国から得ることができました。「新エネルギー関連産業」「食のものづくりに関連産業」の2分野の

多可町では昨年12月、町レベルでは全国で2番目となる企業立地促進法に基づく基本計画の同意を国から得ることができました。「新エネルギー関連産業」「食のものづくりに関連産業」の2分野の

内藤兵衛 県会議員

シカ対策と連動して肉利用も

内藤県議がシカ被害と捕獲対策に力を注ぐことになったのは、「内藤さん、私ら、シカ柵に囲まれて暮らしています…」と、ある高齢者から聞いた言葉がきっかけでした。前回の一般質問や決算委

内藤県議は、「厳しい社会経済情勢のなか、苦しむスタートになっている」と現状を説明、「多可町は工業用地として造成可

内藤県議がシカ被害と捕獲対策に力を注ぐことになったのは、「内藤さん、私ら、シカ柵に囲まれて暮らしています…」と、ある高齢者から聞いた言葉がきっかけでした。前回の一般質問や決算委

その他の質問項目

- ・県民緑税を活用した新エネルギーへの転換促進について
- ・河川の整備と川で共生できる河川環境づくりについて
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について=国の推進事業委嘱校における保護者や地域の意向の把握と認識▷本県における導入

ホームページで質問をご覧いただけます
<http://www.naito-hyoe.net>
ブログもご覧下さい

住み良いふるさとへ熱弁

進みません。内藤県議は、こうした現実を的確に伝えたあと、シカコロッケやシカ肉カレーなど県内各地で開発や販売がスタートした事例を紹介し「低脂肪、高タンパク、鉄分たっぷり

多可町で処理加工施設の整備を検討

シカ肉は健康面でも必ず人気商品になる。流通経路に乗せ消費拡大を進めるため、処理施設の設置、販路開拓及び需要喚起に取り組んでいく必要

内藤県議が想い語る

「揺るがぬ信念持ち続けて」

内藤県議は、質問を終わらせたあと、「人々は自然と闘いながらも逆に自然を生活に取り込み、地域資源を活かして豊かな

内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生、50歳
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- ・私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業
- ・昭和57年、(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・産業労働、建設常任委員会委員
- ・決算特別委員会委員
- ・予算特別委員会委員
- ・自民党兵庫県連組織副委員長
- 家族：母、妻、一男
- 趣味：読書、スポーツ
- 好きな言葉：一日生涯